

薩摩中央家畜市場出荷子牛の発育値および価格に及ぼす市場開設時期の影響

松山 義弘

緒 言

薩摩中央家畜子牛市場（鹿児島県薩摩郡宮之城町）は、年6回開設される。これまで価格の低迷が続いていたが、最近安定化の傾向がみられつつある。一方、子牛生産者は高齢化が進み、入場頭数が少なくなる傾向にあると言われている。

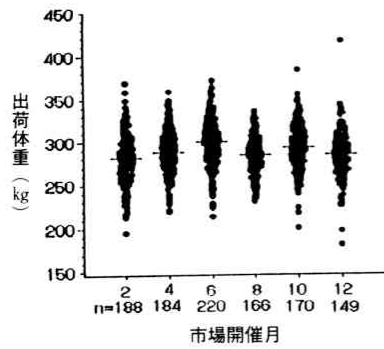
そこで、本調査では価格に影響のある種々の項目について市場開設時期別に分析し、今後の繁殖経営の基礎資料を得ようとした。

材料と方法

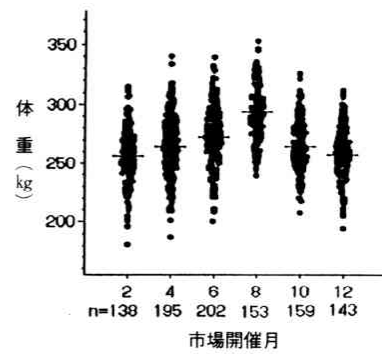
平成6年の薩摩中央市場において、出荷された去勢子牛1,077頭及び雌子牛990頭について、出荷体重、日齢体重及び価格を市場開催月別に比較した。また、日齢、体重及び日齢体重の変動率の推移を検討した。

結果と考察

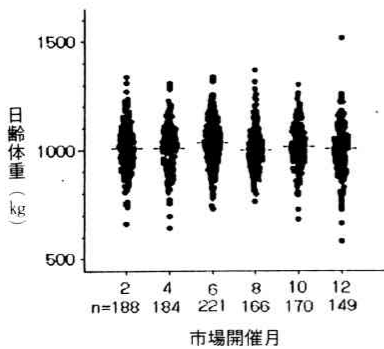
第1図及び第2図に去勢および雌子牛の市場開設時期別出荷体重の分布の違いを示した。去勢子牛の出荷体重は6月が有意に大きい値を示した。雌子牛の出荷体重は、特に8月が有意に大きい値を示したが、2、4、10および12月では小さい値を示した。第3図及び第4図に去勢および雌子牛の市場時期別日齢体重の分布の違いを示した。去勢では日齢体重に開催月間で有意差は認められなかった。しかし、雌では、8月が高い傾向を示し、2月及び10月は逆に低い傾向を示した。第5図及び第6図に去勢および雌子牛の市場出荷時期別の価格の違いを示した。去勢では10月及び12月が高い傾向を示し、6月及び8月が、低い傾向を示した。雌では8月が有意に低い値を示し、その他の月では有意な差は認められなかった。第7図及び第8図に価格、出荷日齢、出荷体重及び発育（日齢体重）の変動率の推移を示した。日齢、体重及び発育では月別の変動率が小さいのに対して、価格の変動率は大きく、特に、価格が低下した2月及び8月に大きい値を示した。このように薩摩市場の子牛価格の変動係数は、子牛の価格が下がるほど大きくなる傾向を示した。



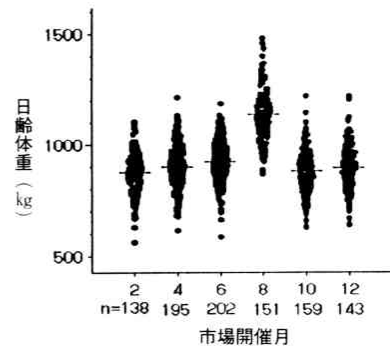
第1図 薩摩中央子牛市場（去勢）の市場時期別出荷体重分布の違い。



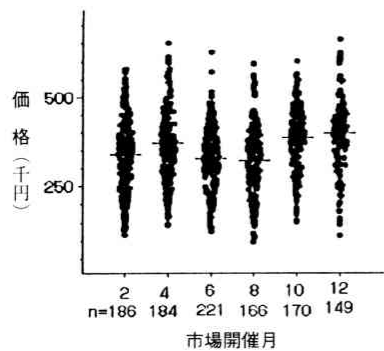
第2図 薩摩中央子牛市場（雌）の市場時期別出荷体重分布の違い。



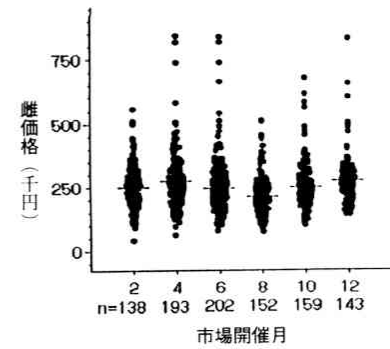
第3図 薩摩中央子牛市場（去勢）の市場時期別日齢体重分布の違い。



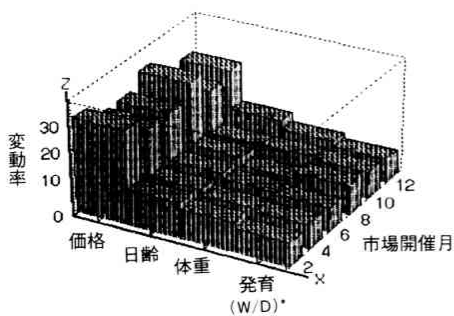
第4図 薩摩中央子牛市場（雌）の市場時期別日齢体重分布の違い。



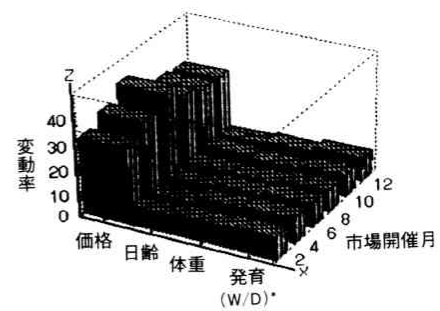
第5図 薩摩中央子牛市場（去勢）の市場時期別価格の違い。



第6図 薩摩中央子牛市場（雌）の市場時期別価格分布の違い。



第7図 薩摩中央子牛市場（去勢）の時期別価格、日齢、体重及び発育変動率の推移。
* W/D 体重/生後日齢を示す。



第8図 薩摩中央子牛市場（雌）の時期別価格、日齢、体重及び発育変動率の推移。
* W/D 体重/生後日齢を示す